

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
520	保健事業(市単分)		1	1	一般会計
			4	4	衛生費
1	10万市民の健康を維持する		1	1	保健衛生費
			1	1	保健衛生総務費
		健康福祉課	102	102	保健事業
川合文秀	連絡先	47-1151	06	06	保健事業(市単分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	20歳以上の住民	疾病の早期発見や健康状態の把握に役立てることができる。
本年度事業内容	がん検診と若年者の健診を同時に実施する	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,360	1,621	0
事務補助員費	151	190	0
業務従事者費	1,209	1,431	0
合計(A+B)	2,080	2,341	720
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,080	2,341	720
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
がん検診受診者	人	1299	1350	1400			
若年者健診受診者	人						

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
胃がん検診受診率	対象者の受診で健康への関心を判断する	%	3 目標 ()	4	5
乳がん健診受診率	対象者の受診で健康への関心を判断する	%	12 目標 ()	13	15

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

休日に検診日を設定し、複数の健診を同時に実施した結果、受診者増につながった。
--

評価	必要性	4	がんをはじめとした疾病の早期発見には健診は必要であり、市民の要望に応える必要がある。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		